

法人合同研修会資料

# 楽しいちデイサービスにおける 入浴時のリスク管理について

---

【 平成24年12月22日 】



医療法人社団らぽーる新潟  
楽しいちデイサービス

介護職員 高野 ゆかり

# はじめに

- 「楽しいちデイサービスにおける入浴時のリスク管理」について職員にアンケートを実施し検証した。
- H24.1月～H24.11月のリスクに関する「ひやりはっ と」の件数を調べた。

# アンケート集計

＜リスク①＞歩行補助機器が他利用者の足に当たる又は踏みつける。  
(ひやり；3件)

＜対応策①＞\*杖歩行の方は見守りをする。  
\*歩行器等を使用されている方は手引き歩行で入室する。

＜リスク②＞装具を外す為、転倒のリスクが高い。  
(ひやり；0件)

＜対応策②＞\*移動時、全利用者を見守り又は一部介助。  
\*車椅子使用の方が浴用椅子に移乗する際は二人介助。  
\*歩行が不安定な方は車椅子移動。  
\*転倒リスクの高い方は中間浴。  
\*臀部洗浄の為の立ち上がりは見守り、又は一部介助。  
\*「歩行状態見守り表」の定期的更新。  
\*ケアカンファレンスで入浴移動方法などの把握、確認。

＜リスク③＞中間浴用椅子で前かがみになると、椅子ごと前のめりになる。  
(ひやり；1件)

＜対応策③＞フットレストを上げ、足を床に降ろして洗って頂く。

＜リスク④＞中間浴で浴槽に入る際、手足が機器に挟まる。  
(ひやり；2件)

＜対応策④＞\*足ベルトの装着。  
\*肘を肘掛けの内側に入れて頂く様声掛け、確認。  
\*下がりきるまで目を離さない。  
\*直ぐに停止ボタンの押せる場所に位置する。

＜リスク⑤＞身体が浮き、溺れる。  
(ひやり；4件)

＜対応策⑤＞\*浴槽手すりに掴まって頂く。  
\*浴槽の階段に腰を掛けて頂く。

### ＜リスク⑥＞火傷

(ひやり；0件)

- ＜対応策⑥＞\*シャワーの温度はぬるめに設定し、適温の確認をする。  
\*浴槽内の湯の温度は温度計を入れて確認をし、更に職員が直接確認をする。  
\*浴槽はいり口は高温のお湯を出さない。

### ＜リスク⑦＞入浴中の体調不良

(ひやり；0件)

- ＜対応策⑦＞\*入浴誘導表に予め印のある血圧不安定な方は、看護師が入浴直前に再度血圧測定を行い、状態の確認をする。  
\*入浴前にバイタルチェックをしっかり行う。  
\*様子がいつもと違ったり体調不良の訴えがあったら、看護師へ報告する。  
\*連絡帳の「家人からの連絡事項」に目を通す。

### ＜リスク⑧＞狭い浴室での利用者間のトラブル

(ひやり；1件)

- ＜対応策⑧＞気の合わない方同士が同じ時間帯にならない様、誘導時間の配慮をする。

# アンケート結果

- リスクについて、職員の中で気付く人と気付かない人がいた。
- リスク管理に対する対応策は、ほとんどの職員が共有出来ていた。

# 考察①

- 気付いた人が他者にも情報を伝えるようにする。
- アンケート内容を共有する。
- システムを活用し、情報の共有を図る。
- ケアカンファレンスで情報の共有を図る。
- 全利用者に各担当職員がいる為、変化があれば各担当職員を通して情報の共有をする。
- ひやりはっとは1週間以内の回覧を守り、繰り返さないようにする。
- 「利用者入浴注意事項」「利用者歩行見守り表」の定期的更新を続ける。

## 入浴時注意事項

月		火	
氏名	注意事項	氏名	注意事項
	リハパンを置いて促す。 整剃りあり(剃り残し介助)。早目誘導。		リハパンを置いて促す。 整剃りあり(剃り残し介助)。早め誘導。
	移乗二人介助(ヒヤリあり)。立位時二人介助。		トランス移乗、二人介助。男性前半の場合カトレア。
	お風呂からあがる時ふらつきあり。		臀部はリフトに座ったまま洗う。
	(一旦座る時がある為状態をみる)		w/c(特大車椅子) 浴前w/c、浴後ピンク色の椅子。ぬるめシャワー。
	w/c 整剃りあり。入浴中、ひしゃく使用。		洗身時、陰部洗体要望があった時は下腹部と鼠頸部を介助して下さい。
	w/c ソフト洗体を使用。		2回シャンプー。爪汚染あり。着脱時声掛けを。
	出血要注意!(B型肝炎) 二人介助。道具持ち帰り。		着脱室手引き注意(ヒヤリあり)。
	できるだけ早めの誘導		w/c
			(カトレア)、臀部よく洗う。
			w/c 階段1段目に座り、ひしゃくを使用。 <b>体が浮くので注意。</b>
	女性介助。ソフト洗体。		女性後半誘導時は早めに誘導。入浴拒否時リハパンを替える。
	移乗二人介助(ヒヤリあり)。夏場浴槽内カトレアにてよく洗体する。		w/c 浴前w/c、浴後ピンク色の椅子。女性介助。
	同性介助。皮膚状態観察。		浴場四角イス。冬場は足を洗面器で温める。
			シャンプーハット使用。洗髪時タオルを顔にあてる。
	浴室内早歩きあり。行動に声掛け必要(他利用者の体を触る等)		ソフト洗体を使用。同性介助。
	シャワーぬるめで。白タオル注意。 <b>体が浮くので注意。</b>		腰かけ時、左足が壁にぶつからないように注意。
	足先痛みあり注意。スポンジ持ち帰り。		リフトの背もたれは倒さない。
	右手(麻痺側)良く洗い、浴後はドライヤーで乾かす。		洗髪時、耳を塞いでいただく。
	移乗二人介助(膝折れあり)。		シャンプーハット使用。臀部・両腸骨稜観察。タオルを目に当ててもらおう。
	リフトの椅子を使用し、洗体・洗身をする。		浴後手指のドライヤーをする。
	w/c 足を伸ばして入りたいので遅め誘導希望。		カトレア 血圧低め。顔色に注意。
	入浴道具持ち帰り。		脱いだ服は一枚ずつはがす。着過ぎに注意。
	冷房禁。同性介助。足元にマットを敷く。		左側見づらい為、声掛けは右側から。ボディソープで顔を洗う。
	冬場、洗面器で足を温める。		浴槽内、 <b>身体が浮くので要注意。</b> 女性後半誘導時は早めに。
	コルセットあり。		浴槽内、 <b>身体が浮くので要注意。</b>
	バット声掛け。補聴器確認。		着脱衣時、ひじ掛けにタオルを巻く(ヒヤリあり)。入浴前スタマ確認。
			スタマカバーを使用し入浴していただく。
			浴槽一番下の階段に座る。ひしゃくを使用。
			w/c 浴前はトイレ誘導。浴場四角イス希望。
			全身(頭部)を石けんで洗う。



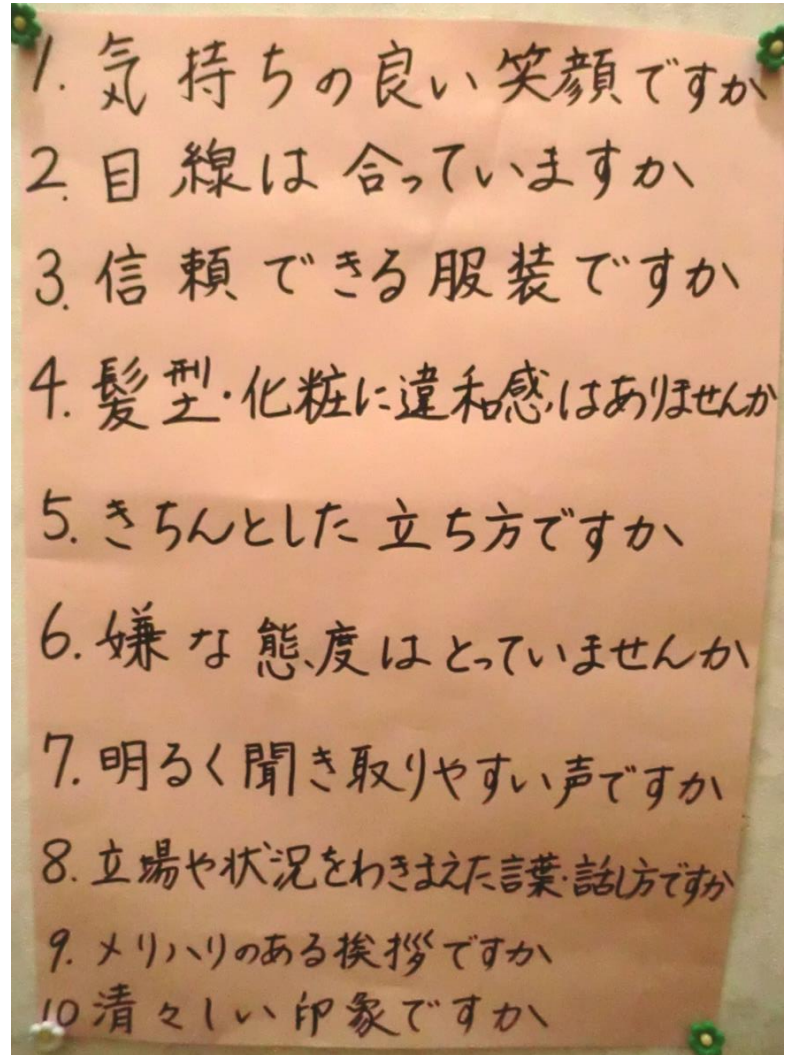
## 考察②

- 生活行為を制御 → 尊厳が侵される危険
  - 生活感
  - 価値観
- } 理解 → 信頼感を築く
- 信頼感 → 穏やかな心理状態 → 危険を防ぐ

# まとめ

<信頼関係を築くための10カ条>

- 情報の共有
- リスクを意識し  
注意を払う
- 信頼感を築く
- 自身の体調管理
- 7hバージョン維持

- 
1. 気持ちの良い笑顔ですか
  2. 目線は合っていますか
  3. 信頼できる服装ですか
  4. 髪型・化粧に違和感はありませんか
  5. きちんとした立ち方ですか
  6. 嫌な態度はとっていませんか
  7. 明るく聞き取りやすい声ですか
  8. 立場や状況をわきまえた言葉・話し方ですか
  9. メリハリのある挨拶ですか
  10. 清々しい印象ですか

**ご清聴**

**ありがとう**

**ございました。**